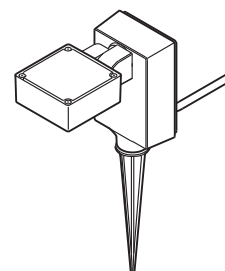


お客様へ

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1～2ページ)を必ずお読みください。
この取付説明書は大切に保管してください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取付説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この取付説明書は必ずお客様にお渡しください。



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

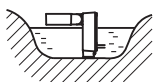
■取付場所

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

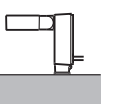
くぼ地等の水の
たまる場所

傾斜した場所



土壌の
やわらかな場所

コンクリートで
固める場所



禁止



禁止

草、木などが成長して器具が
おおわれたり、落ち葉がたまる
ような場所

浴室などの湿気
の多い場所



◎この器具は防雨型、据置きスティック取付専用です。

■その他

●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、ステーブルなどで固定しない。)

傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災のおそれがあります。

◎電源コードや電源プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●電源コードを切断しない

感電、火災のおそれがあります。

◎消灯時の器具内外の一時的な気圧差により、電源コード切断面から器具内に水が浸入するおそれがあります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災のおそれがあります。

警告 (つづき)

■ その他

● LEDユニット交換の際、カバー取付ネジは確実に締め付ける

守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。

● 器具の取り付けは説明書に従い確実にを行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

● 屋外でご利用の場合は、防水コンセント<JIS防雨型>を使う

守らないと、火災、感電のおそれがあります。

● 電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災のおそれがあります。

◎ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

◎ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

● 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

● 上下方向の照射角度を調整したあとは、必ず固定ネジを増し締めする

締め付けが不完全な場合、浸水による感電の原因となります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。

● 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災のおそれがあります。

◎ 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

● LEDユニット交換の際、カバーパッキンがめくれた状態でカバーを取り付けない

カバーパッキンの一部がめくれた状態でカバーを取り付けると浸水による火災、感電のおそれがあります。

● 調光器と組み合わせて使用しない

調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると火災の原因となることがあります。

◎ 調光器の取り外しが必要です。

● 器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

● ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電のおそれがあります。

● 異常を感じた場合は、速やかに電源プラグを抜く

異常が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。



必ず守る



必ず守る



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



電源プラグを抜く

注意

● 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検、交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎ 1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき自主点検してください。

● お手入れの際は、電源を切る

通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

● 点灯中や消灯直後はLEDユニットやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎ お手入れやランプ交換は電源を切り、LEDユニットやその周辺が冷めてから行ってください。

● 温度の高くなるものの周辺に取り付けけない

火災の原因となることがあります。

● LEDユニット交換の際、器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない

充電部露出による感電の原因となることがあります。



必ず守る



禁止



接触禁止

取付前のご準備

① 付属部品を確認する。

< 付属部品 >

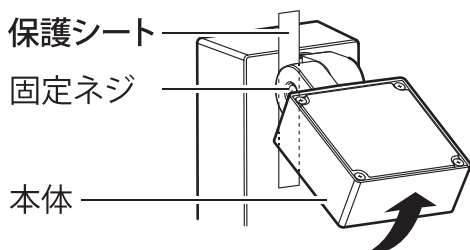
施工する前にまず付属品をご確認ください。
□スティック (1 本)



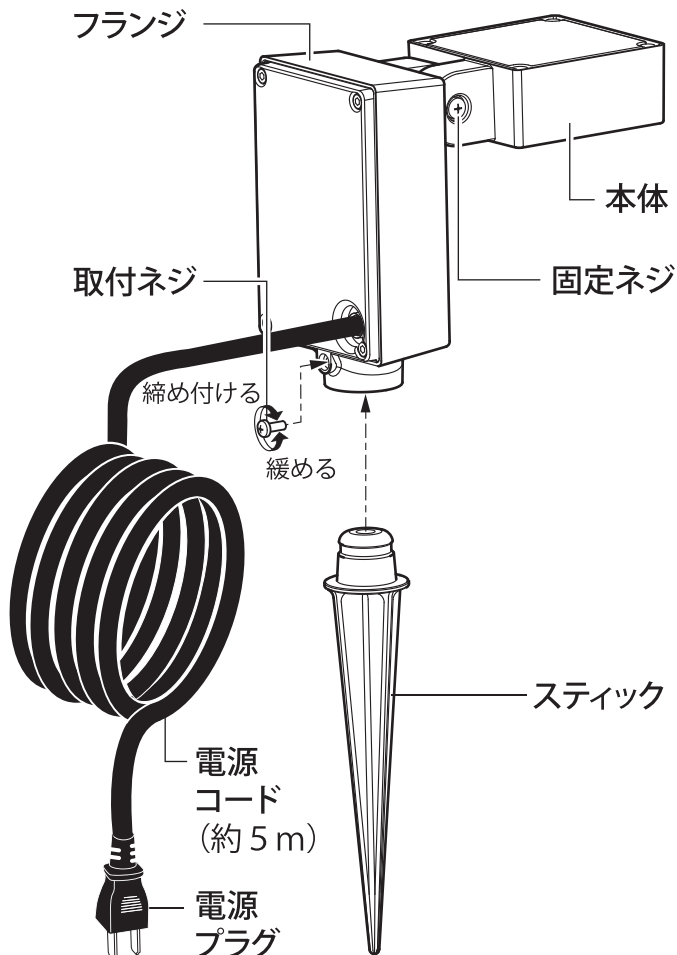
② 梱包部品を取り除く。

< 梱包部品 >

器具の取付後、固定ネジを緩めて本体を可動させ、保護シートを取り除いてください。

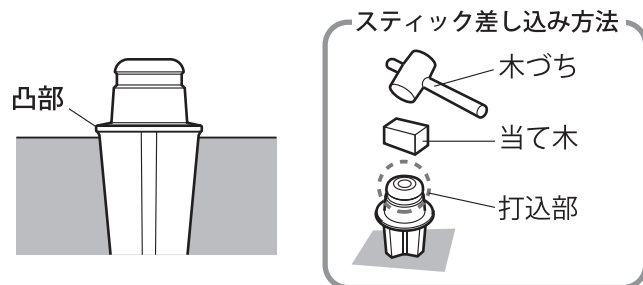


③ 取付ネジを取り外す。



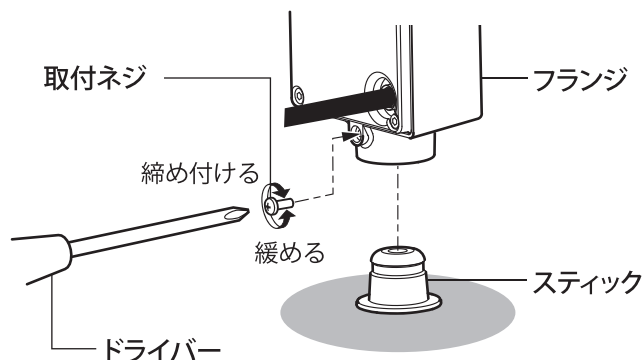
1 地面(土)にスティックを差し込む

- ・スティックは凸部まで差し込んでください。
土が固くて差し込みにくい場合は、打込部に当て木を当てて木づち等でたたいて差し込んでください。
- ・取り付け後にスティックが十分に固定されていることを確認してください。



2 スティックに器具を取り付ける

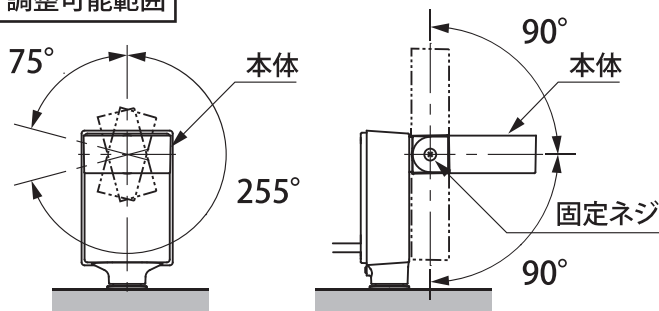
- ・水平方向の照射角度を合わせて器具を取り付け、取付ネジを締め付けて固定する。



3 上下方向の照射角度を調整する

上下方向の照射角度調整は固定ネジを緩めて本体を可動させ、調整後に固定ネジを締め付ける。

調整可能範囲



警告

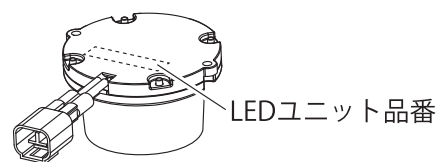
- ！** 上下方向の照射角度を調整したあとは、必ず固定ネジを増し締めする
- 必ず守る** 締め付けが不完全な場合、浸水による感電の原因となります。

4 電源プラグを防水コンセントに差し込む

LEDユニットの交換について

光源に不具合が発生しても、LEDユニットだけを交換できます

- LEDユニットの品番は、LEDユニットの背面に表示しています。
- 交換用のLEDユニットは、販売店、工事店にご依頼ください。



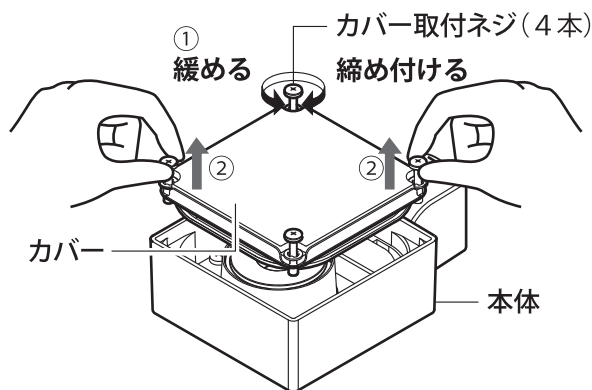
交換方法

- ・交換作業前に必ず電源を切ってください。
- ・部品の落下防止のため、本体照射面を上に向けてください。

1 カバーを取り外す

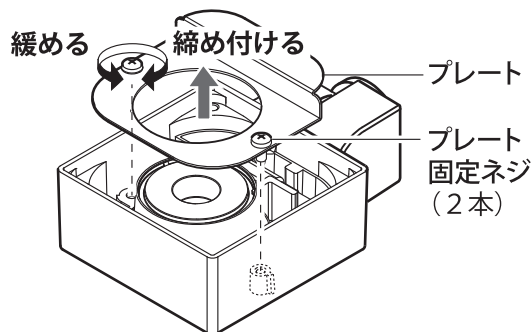
- ①カバー取付ネジ(4本)を緩めてネジ頭を引き出す。
- ②ネジ頭をつまみ、4本を均等に少しずつつますぐ上方向に引き上げながらカバーを取り外す。

注意 カバー取付ネジを偏って引き上げると、カバーに無理な力がかかり、破損するおそれがあります。



2 プレートを取り外す

プレート固定ネジ(2本)を緩めて、プレートを取り外す。



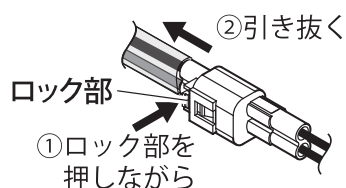
3 LEDユニットを交換する

注意

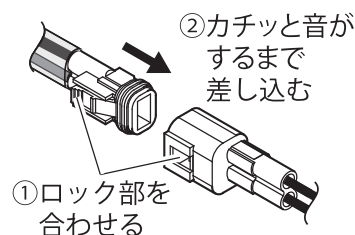


器具配線やコネクタを過度な力で引っ張らない
充電部露出による感電の原因
となります。

【コネクタの接続を解除する】



【交換用LEDユニットのコネクタを接続する】



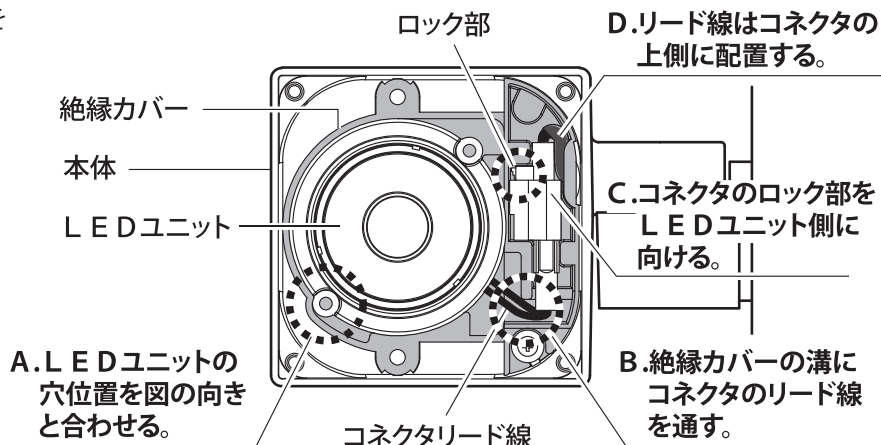
4 プレートを取り付ける

- ①右図のようにLEDユニットとコネクタを絶縁カバーに収納する。

注意 A～Dの部分に注意して取り付けてください。

- ②プレートを取り付け、プレート固定ネジ(2本)を締め付ける。

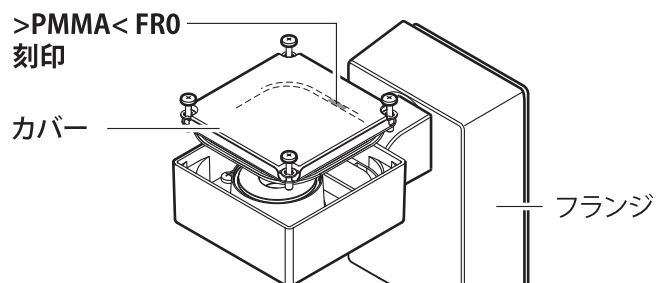
☞ 手順2「プレートを取り外す」参照



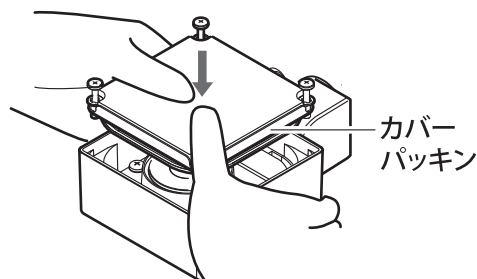
5 カバーを取り付ける

(注意) 取り付け前に本体内側とカバーパッキンに付着しているゴミ、ホコリなどをきれいに取り除いてください。

①カバー裏面の>PMMA< FR0の刻印をフランジ側に向ける。



②カバーの中央部をゆっくり押さえながら取り付ける。



③カバー取付ネジ(4本)を締め付ける。

🔧 手順1「カバーを取り外す」参照



警告



必ず守る

カバー取付ネジは確実に締め付ける

守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。



警告



禁止

カバーパッキンがめくれた状態でカバーを取り付けない

カバーパッキンの一部がめくれた状態でカバーを取り付けると浸水による火災、感電のおそれがあります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

(確認)

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	使用環境
AC100V	50/60Hz共用	7.2W	0.13A	屋外用

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

● 〈照明器具〉 安全チェックシート ●

※チェック欄が足りない場合は
コピーしてお使いください。

安全点検項目		点検結果（該当には○）					処置手順
		/	/	/	/	/	
 このような症状は ありませんか	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは 危険な状態に なっていますので 使用を中止し故障や 事故の防止の為 お取り替えを おすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。						
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。						
	4. こげくさい臭いがする。						
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。						
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。						
	1. 購入後、10年以上経過している。						○印があるときは お買い上げ店に ご相談ください。
	2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。						
	3. カバーなどに変色・変形がある。						
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
	5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

取説コード

Z501

2014**A_1009